

令和7年度蒲郡市総合計画外部評価委員会 会議録

開催日時	令和7年7月14日（月）午前10時30分から正午まで
開催場所	庁議室
出席者	<p><b>【委員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋大学 教授 高野 雅夫</li> <li>・愛知工科大学 准教授 小林 直美</li> <li>・総代連合会 副会長 山口 俊明</li> <li>・がまごおり市民まちづくりセンター 代表 金子 哲三</li> <li>・ボランティア連絡協議会 会長 山本 なおみ</li> <li>・市民公募委員 児玉 真伍</li> </ul> <p>(欠席者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民公募委員 濱野 寛子</li> <li>・市民公募委員 吉原 幸子</li> </ul> <p><b>【事務局】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画部長 牧原 英治</li> <li>・企画部企画調整監 近藤 孝裕</li> <li>・企画部次長兼企画政策課長 小田 芳弘</li> <li>・企画部企画政策課主幹 伊藤 次郎</li> <li>・企画部企画政策課主事 尾崎 晴樹</li> </ul>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員長の選出について</li> <li>(2) 蒲郡市総合計画外部評価委員会の趣旨について</li> <li>(3) 第五次蒲郡市総合計画について</li> <li>(4) 評価施策の選定</li> </ol>
会議資料	別紙のとおり
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員長の選出について 委員からの推薦があった高野委員が互選により選出された。</li> <li>(2) 蒲郡市総合計画外部評価委員会の趣旨について (事務局より説明)</li> <li>(3) 第五次蒲郡市総合計画について (事務局より説明)</li> <li>(4) 評価施策の選定 事務局より説明後、各委員より意見が述べられて、協議の結果、蒲郡市第五次総合計画基本目標第3章「豊かな自然とともに安心して住み続けられるまちづくり 安全・安心」から「防災・減災」と「環境保全・生活衛生」、第4章「にぎわいと元気あふれるまちづくり 産業」から「観光」と「商業・サービス業」の4つの基本施策を選定した。 <b>【各委員意見】</b> ・ ごりやく市等に関わっており、駅前や中心市街地の活性化から「商</li> </ol>

	<p>業・サービス業」、また、消防団の確保も課題かと思うので、「消防・救急」も気になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「防災・減災」について、防災訓練等を地域で行う際に、実際の避難所が耐震改修で使えないことがあった。地区レベルで考えると、防災計画等の市民への周知に課題を感じる。</li> <li>・ 「観光」について、千賀滉大選手のマンホールが設置された際も、遠方から観光客が来てくれているが、場所も含めて観光としてうまく活用できていないように感じた。</li> <li>・ 直近で南海トラフ地震の被害想定や防災対策推進基本計画の見直しが発表されるなど、市民の命を守る「防災・減災」は優先順位が高いと思う。</li> <li>・ 「循環型社会形成」について、蒲郡市は「サーキュラーシティ」の推進を世界的にも先進的に進めているので、取り上げたい。</li> <li>・ 「観光」については、市として力を入れている施策かと思うが、全国的に農業従事者の平均年齢が70歳近いという状況から、「農林業」も取り上げてみたい。</li> <li>・ 「防災・減災」について、ボランティア連絡協議会では450名程度在籍しているが、実際に体が不自由な方など支援が必要な方が正しく避難できるかなどは重要だと考える。</li> <li>・ 「交通安全・防犯」について、国道23号バイパスが全線開通し市内の交通状況は変化しているが、いまだに危険な通行は見かける。</li> <li>・ 「観光」について、バリアフリーにも目を向けていく必要がある。例えば、ナビテラスでレンタサイクルはあるがレンタル車イスは用意していない。障がいのあるなしに関わらず観光できるまちも考えていきたい。</li> <li>・ 「防災・減災」について、行政主導から地域主導へと移行していく時期にきている。</li> <li>・ 「環境保全」についても、行政、市民活動以外にも企業活動として取組が行われている。行政だけで考えるのではなく、本委員会でも知恵を出し合うのは有効だと思う。</li> <li>・ 「観光」、「商業・サービス業」、「工業」と担い手不足が深刻である。観光客を呼んでも施設側で従業員が確保できない実情がある。全体的に言えることだが、まちづくりも含めて今後の担い手確保も重要な課題である。</li> <li>・ ビーチクリーン活動などに携わる中で「環境保全」や「循環型社会」に興味がある。</li> <li>・ 「交通安全・防犯」について、来年の4月から自転車の交通違反の取締が始まり関心も高まっている。市街地でも狭い道路が多く、通学路なのに歩道が十分でない場所も多い。通学路を中心に安全な歩道整備の強化も含めて改めて交通安全について見直すのもよい。</li> <li>・ 「観光」、「商業・サービス業」について、蒲郡駅構内の長年営業していた喫茶店の閉店や、コインロッカーも小さくて大きい荷物を預けるところがないなど、まだまだ対応できるサービスはありそう。</li> </ul> <p>SNSを利用してイベントの情報発信を積極的に行うことや、蒲郡駅南からみなとへとつながる歩道で行われている「蒲郡うみまちマル</p>
--	---

	シェ」や蒲郡まつり「ときめきサタデー」など市民や市外の人に楽しんでもらえる企画も評価できると思う。
--	---